



2023年度 いちごぐみ



クラスだより

敦賀教会幼稚園

園長 有岡史季

6月23日発行

執筆者 吉野ともみ

ベランダの紫陽花がきれいなピンクや水色の花を咲かせました。みんなが育てているおくらやトマトの苗に花が咲き、実が大きくなるのを今か今かと楽しみにしている子ども達です。お部屋では飼育しているカタツムリを見て、飾り作をしたり、歌を歌ったり、梅雨の季節を感じながら過ごしています。

すっかり幼稚園での生活リズムも整い、友達と関わりながら笑顔で遊ぶ子どもたちの姿を微笑ましく思います。その反面、自己主張が強く、やり取りがぶつかり、あつまる事や自分の思いを通そうとする姿も、しかし、それは自我が発達している2歳児ならではの発達の姿でもあります。周りとやり取りの中で相手の気持ちに気が付き、自分の意志が常に通るわけではなく、時には我慢が必要であることも知り、自制心が育っていきます。そのような気持ちを受け止めつつ、一人一人の成長を見守りながら毎日と過ごしていきたいと思ひます。



花の日礼拝

6月12日、それぞれの家庭から持ち寄った花を前に神様が作ってくれた自然、そして与えてくれたすべての命に感謝し、礼拝を守りました。沢山のお花と眺める中、喜びに満たされ、心温まる礼拝となりました。嬉しい気持ちを多くの方々と分かち合うために、いちご組の子ども達が、スタンプの表現方法を使い、制作した紫陽花と貝より、素敵なカードを作りました。花束にそのカードを添えて、教師が近所の方へ、お届けした。近所の方もとても喜んでくださり神様のお手伝いをして下さる事が出来ました。



遊びの中の学びの芽

天候の悪い日には、お部屋で粘土遊びを楽しんでいます。この遊びでは、粘土の感触に角虫、冷たさや石更さを感じながらイメージ型にしていくなかで味わうことができます。初めて粘土に角虫をしたときには、粘土板の裏側に押し型で遊びを楽しんでいました。ところが始めは粘土が石更く、伸ばすのも一苦労です。5~10分ほどで、すぐ集中力も途切れ、片付ける様子がありました。それでも繰り返して遊ぶ中で、カマコも分り始め、丸めたり細長く伸ばしたり、虫に見立てたり、また頭の中でイメージしたものを「ぶどう作ろうか」とつむり作って、と教員に話しに来る様子がありました。30分ほど遊びが継続するようになり、言葉しながら考えたり、思い思いにイメージを広げ表現しようとしている姿に学びの芽を感じました。この芽が創作意欲、創造力、試行金錯誤する力につながるようになっていくように育てていきたいと思ひます。



園での様子とお願い

★ 会食... 沢山のおいしい食材を育てる農家の方。

言理して下さる会食の方に感謝して、みんなで会食を分かち合っています。友達と食べるとおいしいね、嬉しい気持ちで食べる事を大切にしながら、苦手な食材は西乙用糖の量を調節し、一口は食べられるように巻かれています。(頑張り屋さんの子ども達です。西乙用糖は食事はいつも完食しています。) またスプーンやフォークの持ち方、足を閉じて椅子に座る事、机と身体の間隔を話める、食器に手を添えることなど、マナーも伝えています。夏に向け、食欲が落ちてくる事も出てくると思ひます。また、味覚も発達途中の子ども達です。お子さんの好みや食事の様子で、気になることがありましたら、いつでもお声掛け下さい。

★ 朝の所持品の整理(登園後、水筒・帽子・リュックを掛付け、お知らせケースを出し、シールを貼る) スポーツの着脱。手洗後ハンカチで手を拭く。会食の準備等、幼稚園では色々な事を自分でやり、やってみようとする姿が見られています。できるだけ時間がかかっても、時には投げ出し、甘えたり... そんな時も教員が励ます中で、自分で出来る満足げな様子の子もいます。できた!という達成感が味わえるよう、時には手を添えて寄り添って、いっしょに思ひます。時間がかかってもあるかも知れませんが、お家でも寄り添ってあげて下さい。そして沢山褒めスキャンダルを取ってあげて下さいね。登園時、系会本袋も自分で持つと素敵です。水筒は安全の為、首から掛けて、月経を通してお持ち下さい。

★ パンツトレーニング... パンツへの移行期間でもある2歳児。友達がトイレに行くのを見て真似して行ってみようとする姿も見られ始めました。ご家庭での様子もお伺いして園でもトレーニングを始められたらと思ひます。お家での様子をぜひ教えて下さいね! 夏に向けて移行しやすい時期でもあります。パンツの心地よさを伝え、スムーズに移行の弾みになりたいと思ひます。トレーニング用のパンツですと、オムツと変わらず、暑さを感じたり失敗して尿が足を伝えていく気持ち悪さや濡れた不快感を感じ取るの、難しい様子があります。移行の際には普通のパンツをお勧めします。